



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月26日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7931 URL <http://www.mirai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 雅裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 中島 靖 TEL 0584-68-1200  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年3月21日～平成29年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	27,102	5.6	3,481	3.5	3,554	7.1	2,417	18.6
29年3月期第3四半期	25,662	△0.9	3,365	10.2	3,317	10.9	2,038	12.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,099百万円 (44.8%) 29年3月期第3四半期 2,140百万円 (17.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	104.38	—
29年3月期第3四半期	88.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	63,458	50,743	79.6
29年3月期	60,252	48,410	80.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 50,504百万円 29年3月期 48,187百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
30年3月期	—	16.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年3月21日～平成30年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,891	3.7	3,885	△7.5	3,937	△4.4	2,629	13.9	113.54

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	25,607,086株	29年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,447,718株	29年3月期	2,448,999株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	23,158,627株	29年3月期3Q	23,158,209株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に個人消費に持ち直しの動きがみられるなど景気は緩やかな回復傾向で推移しました。

当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利などにより、新設住宅着工戸数は底堅く推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開した結果、売上高は271億2百万円と前年同四半期に比べ14億40百万円(5.6%)の増収となりました。利益につきましては、原材料単価の上昇や減価償却費の増加等があったものの増収効果等により、営業利益は34億81百万円と前年同四半期に比べ1億16百万円(3.5%)の増益、経常利益は35億54百万円と前年同四半期に比べ2億36百万円(7.1%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、24億17百万円と熊本地震の被災による特別損失1億50百万円が発生した前年同四半期に比べ3億78百万円(18.6%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### (電材及び管材)

電材につきましては、地中埋設管「ミラレックスF」やその附属品に加え硬質ビニル電線管「J管」やその附属品等の電線管類及び附属品が増加しました。管材につきましては、給水給湯リフォーム用配管モジュール「RMモジュール」等が増加しました。その結果、売上高が209億52百万円と前年同四半期に比べ8億79百万円(4.4%)の増収となりました。営業利益は増収効果等があったものの原材料単価の上昇や垂井工場稼働に伴う減価償却費の増加等により、31億67百万円と前年同四半期に比べ1億8百万円(3.3%)の減益となりました。

#### (配線器具)

配線器具につきましては、電材ルートへの活発な営業活動により「J-WIDE」等の配線器具が堅調に増加した結果、売上高が42億11百万円と前年同四半期に比べ1億68百万円(4.2%)の増収となりました。営業利益は4億63百万円と前年同四半期に比べ1億40百万円(43.5%)の増益となりました。

#### (その他)

その他につきましては、「省力化機械及び樹脂成形用金型」が堅調に推移した結果、売上高が19億38百万円と前年同四半期に比べ3億92百万円(25.4%)の増収となりました。営業利益は3億38百万円と前年同四半期に比べ84百万円(33.2%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて32億6百万円増加し、634億58百万円となりました。その主な要因は、売上高増加に伴い受取手形及び売掛金が10億81百万円増加、余裕資金の運用に伴い有価証券が5億円増加、投資有価証券が5億68百万円増加、長期預金が5億円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて8億73百万円増加し、127億15百万円となりました。その主な要因は、売上高増加に伴う仕入高の増加により支払手形及び買掛金が5億43百万円増加、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が4億93百万円となっており、前連結会計年度末の未払消費税等78百万円と比較して4億14百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて23億33百万円増加し、507億43百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が16億49百万円増加、土地再評価差額金が5億24百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月25日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,649	21,368
受取手形及び売掛金	10,262	11,344
有価証券	500	1,000
商品及び製品	3,413	3,633
原材料及び貯蔵品	863	1,127
繰延税金資産	466	302
その他	1,219	772
貸倒引当金	△79	△9
流動資産合計	37,296	39,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,508	7,148
機械装置及び運搬具(純額)	2,999	2,945
土地	6,790	6,779
建設仮勘定	277	261
その他(純額)	469	473
有形固定資産合計	18,046	17,608
無形固定資産	724	635
投資その他の資産		
投資有価証券	1,420	1,989
繰延税金資産	541	538
再評価に係る繰延税金資産	—	412
退職給付に係る資産	316	381
長期預金	1,500	2,000
その他	501	524
貸倒引当金	△95	△169
投資その他の資産合計	4,184	5,675
固定資産合計	22,955	23,919
資産合計	60,252	63,458
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,603	6,147
短期借入金	188	207
1年内返済予定の長期借入金	462	412
未払法人税等	652	502
賞与引当金	—	427
その他	2,704	2,816
流動負債合計	9,611	10,513
固定負債		
長期借入金	546	540
再評価に係る繰延税金負債	112	—
株式付与引当金	484	575
役員退職慰労引当金	136	108
退職給付に係る負債	586	602
その他	363	374
固定負債合計	2,229	2,201
負債合計	11,841	12,715

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,538	9,538
利益剰余金	36,915	38,565
自己株式	△3,192	△3,191
株主資本合計	50,329	51,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	354
土地再評価差額金	△2,406	△1,882
退職給付に係る調整累計額	46	51
その他の包括利益累計額合計	△2,142	△1,476
非支配株主持分	223	239
純資産合計	48,410	50,743
負債純資産合計	60,252	63,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年12月20日)
売上高	25,662	27,102
売上原価	15,429	16,323
売上総利益	10,232	10,778
販売費及び一般管理費		
運賃	1,643	1,719
貸倒引当金繰入額	10	5
役員報酬	172	164
給料及び手当	2,338	2,389
賞与引当金繰入額	148	146
退職給付費用	121	102
株式付与引当金繰入額	43	44
役員退職慰労引当金繰入額	12	12
その他	2,375	2,712
販売費及び一般管理費合計	6,867	7,296
営業利益	3,365	3,481
営業外収益		
受取利息	16	5
受取配当金	12	26
保険事務手数料	5	4
作業くず売却益	5	12
債務保証損失引当金戻入額	16	—
補助金収入	0	132
その他	50	70
営業外収益合計	107	253
営業外費用		
支払利息	10	7
売上割引	123	131
固定資産除却損	6	0
その他	15	40
営業外費用合計	155	180
経常利益	3,317	3,554
特別利益		
補助金収入	164	45
特別利益合計	164	45
特別損失		
固定資産圧縮損	164	45
災害による損失	150	—
特別損失合計	315	45
税金等調整前四半期純利益	3,166	3,554
法人税、住民税及び事業税	962	1,027
法人税等調整額	149	93
法人税等合計	1,112	1,120
四半期純利益	2,054	2,433
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,038	2,417

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月21日 至 平成28年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月21日 至 平成29年12月20日)
四半期純利益	2,054	2,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	136
土地再評価差額金	9	524
退職給付に係る調整額	9	4
その他の包括利益合計	85	665
四半期包括利益	2,140	3,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,123	3,083
非支配株主に係る四半期包括利益	16	16



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年3月21日 至平成28年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,072	4,043	24,116	1,546	25,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	144	—	144	3,048	3,192
計	20,216	4,043	24,260	4,594	28,854
セグメント利益	3,275	323	3,599	254	3,853

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,599
「その他」の区分の利益	254
セグメント間取引消去	△4
全社費用(注)	△446
棚卸資産の調整額	△2
有形固定資産の調整額	△33
無形固定資産の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	3,365

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月21日 至平成29年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,952	4,211	25,164	1,938	27,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	176	—	176	3,054	3,231
計	21,129	4,211	25,341	4,992	30,334
セグメント利益	3,167	463	3,631	338	3,969

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、運送事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,631
「その他」の区分の利益	338
セグメント間取引消去	8
全社費用(注)	△466
棚卸資産の調整額	△2
有形固定資産の調整額	△28
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	3,481

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。